



# Bーぐる沿線協議会ニュース

第17号

平成 29 年 3 月発行 Bーぐる沿線協議会事務局 区民課庶務係（コミュニティ担当） 03-5803-1387

平成 29 年 2 月 23 日に沿線協議会が開催され、平成 28 年度上半期の Bーぐるの運行実績報告、Bーぐるの友の会から平成 28 年度活動報告等がありました。

## 目白台・小日向ルート of 伸びも一段落、両ルートとも安定的に推移

今回は平成 28 年 11 月の委員改選後最初の開催となったため、各委員と事務局の紹介があり、新たに元田会長、諸留副会長が選出されました。会議の冒頭、元田会長から「今年 4 月で Bーぐるは 10 周年を迎える。これまで順調に育ってきたが、更なる飛躍に向けて沿線協議会も貢献していきたい」と抱負を述べました。

議事に入り、日立自動車交通(株)富田委員から Bーぐると平成 28 年度上半期の運行実績に関して、「千駄木・駒込ルートは 1 日当たり 1,424 人、同じく目白台・小日向ルートは 1,266 人となり、両ルートとも前年並みに推移している」と報告がありました。区で定めている公的支援の基準の目安である一日当たり 1,200 人を平成 27 年度にはじめて達成した目白台・小日向ルート of 伸びも今年度は一段落し、今後は安定的に推移していくものと思われます。

さらに、千駄木・駒込ルートは平日（通院や福祉施設）と土日（観光）で客層がかわる。目白台・小日向ルートは、平日朝夕の通勤通学利用が中心とい

った利用上の両ルートの特徴が説明されました。また課題であった途中バス停での「積み残し」に関しても、イベント開催日等年に数回程度で常態化は解消しているとの説明がありました。



元田会長

Bーぐる一日当たりの乗車人数（4 月～9 月）

		千駄木・駒込ルート	目白台・小日向ルート
平成 26 年度		1,420 (355)	1,150 (287)
平成 27 年度		1,436 (359)	1,270 (318)
平成 28 年度		1,424 (356)	1,266 (317)
増減率	26/27 年度	+1.1%	+10.4%
	27/28 年度	-0.8%	-0.3%

## 「誰もが平等に利用できる Bーぐる」をテーマに話し合いました。

車いすやベビーカーを利用して Bーぐるに乗る人、視覚や言葉の壁等、Bーぐるが幅広い意味でバリアフリーになるにはどうすればよいかが話し合われました。参加委員からは活発な意見が出され、運行事業者（日立自動車交通）との間で質疑が行われました（裏面参照）。

最後に、Bーぐるチャンネルの中で「バリアフリーの周知があると、周囲の人の気遣いや手助けのきっかけになるのでは」といった具体的な提案もありました。



### ①車いすの利用に関して

- 運転士が車いすを固定していく手際がよくて、安心して見ていられた。
- 車いす利用者もシビックに行く時に利用したいが、迷惑になると思って遠慮しがちという話を聞く。
- 乗務員教育でも車いすの取扱い（フック・輪留め等）は徹底しており、今後も遵守していきたい。（日立）

### ②ベビーカーの利用

- 新車両になって車内が広くなり、また前扉からも乗車可能になったので、利用者のストレスは減ったと思われる。引き続き、ゆずり合いの精神と折りたたみ等のマナー啓発に努めていきたい。（日立）

### ③視覚障害者の利用

- 視覚障害者が介助者なしで利用するケースは年に数回程度で、過去に問題は発生していない。基本的には「見守り」、何かの場合手助けする、というスタンスで対応している。（日立）

### ④外国人の利用（言葉のバリアフリー）

- Bーぐるマップ英語版が刊行されていても、ラックの位置が出口扉の足元だと目に付かない。（六義園に行きたい外国人が間違っって根津神社で降りようとしたので、乗客みんなで止めたことがある）
- バス停の英語表記に関して、意味は通じるかも知れないが、こなれていない印象。次回の見直しの際にはネイティブの意見を入れた方が良い。英語でコミュニケーションできる運転士がいるとさらに良い。

## Bーぐる友の会から、28年度活動報告と4つの提言

Bーぐる友の会を代表して鈴木委員から、平成28年度にBーぐる友の会で実施した活動に関する報告の後、Bーぐるを親しみやすく快適なバスにするための提案がありました。



Bーぐる洗車ツアー



文京ボランティア・市民活動まつり 2016

### 「親しみやすく快適なBーぐる」に向けた4つの提案

#### ①バス停サポーター制度の導入

バス停周辺の環境を維持するために、沿線住民が日常的にバス停周辺を見守り、気付いた点を報告するボランティアをバス停毎に募集します。バス停にネームプレート掲出する等で参加意識を高めます。

#### ②GPSと車内モニターの利用促進

沿線地域のイベント等の情報発信ツールの一つとしてBーぐる車内のモニターの活用とGPSのバスロケーションシステム等への活用が期待されます。

#### ③開業10周年記念行事の企画実施

今年は千駄木・駒込ルートでの運行開始から10年のBーぐるにとってメモリアルイヤー。記念のデコレーションやイベントを企画して祝賀ムードを盛り上げます。

#### ④キャラクターグッズ開発

キャラクターグッズ等を販売した収益をBーぐる友の会の活動資金に充てることが出来るよう、関係機関への協力を要請します。



沿線情報番組（Bーぐるチャンネル）



沿線店舗との協働でバス停ベンチの設置

### 編集後記

委員改選後初の会合でしたが、初回から熱い(?) 討議になりました。各委員のBーぐるに対する強い思いの表れを見た気がします。個人的には「みんなが平等に利用できるBーぐる」の話にはコミュニティバスのあるべき姿が見えたような気がしましたし、Bーぐる友の会からの提言にはコミバスの枠組みを超えた可能性を感じる事が出来ました。(N)